

## 2 医療的ケア児等コーディネーターの配置状況等

[資料3-2]

### (1) 医療的ケア児等コーディネーター配置状況内訳(令和4年4月現在)

#### ○市町村別配置状況

市町村	配置人数	内 訳				
		相談支援専門員	保健師	相談員／支援員	看護師	その他
1 名古屋市	71	54	7	0	3	7
2 豊橋市	12	7	2	0	1	2
3 岡崎市	5	3	1	0	1	0
4 一宮市	6	5	1	0	0	0
5 瀬戸市	6	2	3	0	0	1
6 半田市	4	2	2	0	0	0
7 春日井市	3	3	0	0	0	0
8 豊川市	3	2	0	0	1	0
9 津島市	4	2	2	0	0	0
10 碧南市	2	2	0	0	0	0
11 刈谷市	6	5	0	0	0	1
12 豊田市	4	4	0	0	0	0
13 安城市	6	4	0	1	1	0
14 西尾市	3	2	0	0	1	0
15 蒲郡市	6	5	1	0	0	0
16 犬山市	3	1	2	0	0	0
17 常滑市	4	3	1	0	0	0
18 江南市	4	0	1	1	0	2
19 小牧市	3	2	1	0	0	0
20 稲沢市	7	5	2	0	0	0
21 新城市	1	0	1	0	0	0
22 東海市	1	0	1	0	0	0
23 大府市	3	2	1	0	0	0
24 知多市	4	1	1	0	0	2
25 知立市	1	0	1	0	0	0
26 尾張旭市	3	1	1	0	0	1
27 高浜市	4	0	1	3	0	0

市町村	配置人数	内 訳				
		相談支援専門員	保健師	相談員／支援員	看護師	その他
28 岩倉市	3	2	1	0	0	0
29 豊明市	1	0	1	0	0	0
30 日進市	3	3	0	0	0	0
31 田原市	3	2	1	0	0	0
32 愛西市	4	1	3	0	0	0
33 清須市	6	0	5	1	0	0
34 北名古屋市	6	5	1	0	0	0
35 弥富市	5	4	1	0	0	0
36 みよし市	5	2	2	0	0	1
37 あま市	4	4	0	0	0	0
38 長久手市	7	2	4	0	0	1
39 東郷町	3	0	3	0	0	0
40 豊山町	1	0	1	0	0	0
41 大口町	5	2	2	0	0	1
42 扶桑町	5	2	0	1	1	1
43 大治町	4	2	2	0	0	0
44 蟹江町	3	2	1	0	0	0
45 飛島村	4	2	1	0	0	1
46 阿久比町	2	0	2	0	0	0
47 東浦町	3	2	1	0	0	0
48 南知多町	4	1	3	0	0	0
49 美浜町	2	1	1	0	0	0
50 武豊町	1	1	0	0	0	0
51 幸田町	1	0	0	0	0	1
52 設楽町	1	0	1	0	0	0
53 東栄町	1	0	1	0	0	0
54 豊根村	—	0	0	0	0	0
計	266	157	71	7	9	22

#### ○職種別配置状況

職種	人数	割合
相談支援専門員	157	59.0%
保健師	71	26.7%
看護師	9	3.4%
相談員／支援員	7	2.6%
その他	22	8.3%
計	266	100.0%

#### ○配置の推移

配置年度	人数	増減	市町村
令和元年度	117	-	48
令和2年度	181	+64	53
令和3年度	211	+30	53
令和4年度	266	+55	53

#### ○養成の方針(抜粋)

・養成研修の定員に収まるよう、医療的ケア児への支援実績等を踏まえ、養成者を決定している。  
 ・人事異動があった場合でも、配置しているコーディネーターに不足が生じないよう各分野バランスよく受講させている。  
 ・全ての研修受講希望者を受講させることとしているが、定員を超える場合は、現在の配置のバランスを考慮し、優先順位を決めている。  
 ・定員を超える場合は、支援の関わりの多い職種を優先して、受講させている。

#### ○配置の方針(抜粋)

・研修受講者全員を配置することとしている。  
 ・管内で地理的に分散するよう、保健や福祉の関係機関に配置するようにしている。  
 ・医療的ケア児・者を支援する事業所にまんべんなく配置することとしている。  
 ・医療的ケア児支援に関わる機関に幅広く配置できるよう、様々な機関の職員に受講を促し、配置していくこととしている。  
 ・保健、医療、障害福祉、教育、保育の分野での配置を基本としている。

(2) 医療的ケア児等コーディネータの活動状況

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
1 名古屋市	・医療的ケア児の <b>退院時カンファレンス</b> への参加	・医療的ケア児が退院する際、 <b>カンファレンス</b> に参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	・医療的ケア児が退院する際、 <b>カンファレンス</b> に参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言することができた。 ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者に対するフォローアップ体制が弱い。 ・困難事例への対応等にかかるスーパーバイズ体制が弱い。
2 豊橋市	・ <b>協議の場</b> への参加 ・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加 ・医療的ケア児等及びその家族の相談支援 ・アドバイザー主催の圏域内のコーディネーターの会への参加	・医療的ケア児等の支援に関する協議（コーディネーター会の参加、ケース検討、地域課題の抽出、検討会へ参加し協議事項への提言） ・退院前 <b>カンファレンス</b> に参加し、医療的ケア児者及び家族が継続的に相談・在宅サービスを利用できるよう調整。 ・アドバイザー主催の圏域内のコーディネーターの会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。	・医療的ケア児の課題の明確化はできた。課題がかなり多く、ひとつひとつ解決していくにはかなりの時間と費用を要する。 ・保健師や相談支援専門員等が医療的ケア児等コーディネーターを担い、関係機関と連携しながら個々の支援をしているが全体を把握・調整する役割も必要。 ・退院前 <b>カンファレンス</b> に参加し、利用者が退院前から在宅での生活をスムーズにできるよう支援することができた。
3 岡崎市	・ <b>協議の場</b> への参加 ・ <b>個別支援会議</b> への参加 ・医療的ケア児の <b>退院時カンファレンス</b> への参加	・ <b>協議の場</b> で地域課題の提言を行った。 ・医療的ケア児の相談支援を行なった。 ・医療的ケア児が退院する際、医療機関からの要請に応じて障がい福祉サービスに繋ぐ等支援を行った。	・協議会の場を活用し、関係機関の連携が進んだ。 ・医療的ケア児の受入れができる <b>社会資源</b> が少ない。 ・関係機関により医療的ケア児支援に対する温度差がある。
4 一宮市	・ <b>協議の場</b> への参加 ・ <b>個別支援会議</b> への参加 ・医療的ケア児の <b>退院時カンファレンス</b> への参加 ・コーディネーターの打ち合わせ会への参加	・ <b>協議の場</b> で地域課題への提言や、情報交換を行った。 ・ <b>個別支援会議</b> へ参加し関係機関との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、 <b>カンファレンス</b> に参加した。 ・医療的ケア児コーディネーターの情報交換の場となる打ち合わせ会に参加し意見交換を行った。	・ <b>協議の場</b> を活用し、関係機関との連携、コーディネーターの周知などが進んだ。 ・医療的ケア児の <b>個別支援会議</b> や <b>退院時カンファレンス</b> に参加し、関係機関との調整を行うことができた。 ・打ち合わせ会では医療的ケア児が利用できる <b>社会資源</b> が少ないことについて意見交換ができた。
5 瀬戸市	・ <b>協議の場</b> への参加 ・ <b>個別支援会議</b> への参加 ・医療的ケア児の <b>退院時カンファレンス</b> への参加 ・自立支援協議会への参加	・行政や訪問看護事業所と連携し、対象児や家族の状況把握を行った。 ・ <b>協議の場</b> に参加し、地域課題や現状を共有した。 ・医療・保健機関でのケース連絡会議や <b>個別支援会議</b> に参加し、福祉の立場での助言やサービス調整、全体のコーディネート業務を行った。 ・自立支援協議会へ参加し、医療的ケア児等に関する課題の提示を行った。	・ <b>協議の場</b> において、顔の見える関係づくりができ、コーディネーターとしての役割を確立した。 ・医療的ケアが必要な児童について、行政や就学先の学校や教育委員会、障害児通所支援事業所や障害福祉サービス事業所等との調整を行った。 ・障害児通所支援事業所の実務者レベルでの医療的な知識を学ぶ場が欲しいとの要望があり、訪問看護ステーションの協力を得て開催することを検討中。
6 半田市	・ <b>協議の場</b> への参加 ・ <b>個別支援会議</b> への参加 ・医療的ケア児の <b>退院時カンファレンス</b> への参加 ・医療機関との連絡調整 ・関係機関との連絡調整 ・保育所等、学校等の体制整備に係る協議 ・圏域会議への参加 ・本人の同行支援等	・ <b>協議の場</b> として障がい者自立支援協議会の配下に設置された「医療的ケア支援に係る検討会」において、医療的ケア児の近況等の情報共有、医療的ケア児及びその家族が抱える課題に係る検討等を実施。 ・ <b>個別支援会議</b> へ参加し、医療的ケア児及びその家族並びに関係機関との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、 <b>カンファレンス</b> に参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 ・医療機関を訪問し、医療的ケア児の出生等時に関係機関が迅速に連携できるように「医療的ケア児支援に係る連携体制について（対応フローチャート含む。）」を説明し、対応を依頼した。 ・幼稚園、保育園、学校等の関係機関が医療的ケア児に対する支援を円滑に実施できるよう当該関係機関との連絡調整を行った。 ・医療的ケア児が地域の保育園、幼稚園、小学校等に通えるよう必要な体制整備を行うための協議の場である「医療的ケア児の教育及び保育の保障に関する検討会」において、関係機関で協議を実施。 ・圏域会議で、課題の提言や情報交換を行った。 ・事業所見学への同行や面接に同席する等の支援を行った。	<成果> ・医療的ケア児等コーディネーターが中心になり、医療的ケア児が地域で生活していくための必要な支援について、関係機関で迅速に協議し、実施することができている。 ・医療機関への連携体制の周知・依頼により、医療的ケア児の出生等時に医療機関が連絡する先が明確になり、迅速な対応が可能になった。 ・主治医ではない市内の救急病院等において、緊急時の受入れにあたって、医療的ケア児の情報等をまとめた「緊急医療ハンドブック」を作成した。 ・小学校での受け入れを行うために必要な <b>看護師</b> の配置等に係る予算措置（令和4年度予算）を行うことができた。 ・ <b>災害時</b> への備えとして、医療的ケア児の <b>個別避難計画</b> を作成。  <課題> ・看護職員の配置等の人員面及びバリアフリー等の設備面から医療的ケア児及びその家族のニーズに対応できる <b>社会資源</b> が不足しており、また、それらの課題についてはすぐに解消できるものではないこと。
7 春日井市	・ <b>協議の場</b> の運営（地域自立支援協議会の下部組織）	・ <b>協議の場</b> の司会、進行等の運営を行った。	・コーディネーターと関係者による顔の見える関係作りができた。 ・市内在住の医療的ケア児等にとってどのような課題があるのか、事例検討を通して課題を抽出する作業を行っている。抽出された課題についてどのようにアプローチできるのかが今後の検討課題となる。

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
8 豊川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議、カンファレンス等への参加</li> <li>・医療的ケア児者の実態把握</li> <li>・緊急時（災害時）の課題の確認等</li> <li>・啓発、スキルアップのための研修実施</li> <li>・医療的ケア児保護者交流会</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> <li>・医療的ケア児の保育所受入れに関する検討会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊川市障害者地域自立支援協議会「医療的ケア部会」「運営委員会」に参加し、事例や課題について報告を行った。</li> <li>・地域の相談支援専門員が担当する児童のケースに関わり、情報提供、同行、助言等の連携を行った。</li> <li>・市内の医療的ケア児者の現状を確認し、地域課題を整理した。</li> <li>・医療、介護分野と協働し、「災害時の備え、福祉避難所について」というテーマで研修を実施した。</li> <li>・「医療的ケア入門研修」として、市民病院救急看護認定<b>看護師</b>を講師として招き、喀痰吸引の模擬等を行った。</li> <li>・オンライン（zoom）を活用し、保護者交流会を実施した。悩みの共有、情報交換、訪問入浴の実況中継等を行った。（参加者：気管切開又は呼吸器使用の医療的ケア児保護者5名）</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> <li>・医療的ケア児の保育所受入れについて、保育課・子育て支援課（児童発達相談センター）・福祉課・医療的ケア児等コーディネーターで検討会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議やカンファレンス等への参加により他機関との関係ができ、地域の相談支援専門員や病院のワーカーとの連携がスムーズである。</li> <li>・40歳未満の気管切開もしくは人工呼吸器使用の医療的ケア児者26名中24名に、停電を想定した<b>災害時</b>の備えや不安について聞き取りを実施し、課題の確認を行った。医療的ケア児者の緊急時の対応について今後検討するための参考情報を得ることができた。</li> <li>・「医療的ケア入門研修」は集合開催・zoom・動画配信を実施。医療職9名が、訓練用入形を用いた喀痰吸引の模擬に参加した。非医療職21名が、医療的ケアの基礎知識に関する講義をzoomで視聴した。zoomでの講義は後日、希望者17名に動画配信を行った。医療的ケアの啓発、周知に繋がる活動となった。</li> <li>・医療的ケア児保護者交流会に参加した保護者からは好評を博した。令和4年度は複数回開催を検討中。</li> <li>・医療的ケア児の保育所受入れについて、医療的ケア児等コーディネーターが行政と本人・保護者の橋渡しになった。</li> </ul>
9 津島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児支援に関する行政等懇談会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で各機関と情報交換を行った。</li> <li>・個別支援会議へ参加し、関係機関との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児支援に関し、行政内関係各課と情報交換を行った。</li> </ul>	医療的ケア児の保育所等受け入れガイドラインの策定
10 碧南市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅等での個別支援会議へ参加し、関係課との連携や災害時の対応、今後の課題についての意見交換を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターが中心となり、医療的ケア児者に関する会議を開催し、課題の抽出などを行っている。</li> <li>・現状対応した事例が少ないため、毎回手探りしながら必要な支援を検討している。</li> </ul>
11 刈谷市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議およびケースカンファレンスへの参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内の医療ケア児支援者情報共有会への参加</li> <li>・圏域内の医療的ケア児支援者の研修会・勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の個別支援会議およびケースカンファレンスに参加し、個別の課題と支援方針を整理確認し、行政・関係機関・関係者の役割分担と調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後または在宅生活が安定したのちからの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言し、関係機関及び事業所との連携・調整をはかった。</li> <li>・圏域内の医療的ケア児の研修・学習会へ参加し、関係機関及び事業所の連携・活動状況の情報交換を行うとともに、今後の地域課題や取り組みの方針について研修した。</li> <li>※圏域の研修会=保健所主催：医療的ケア児等関係機関連絡会議、医療的ケア児の支援体制推進研修会、難病対策地域協議会。西尾市主催：自立支援協議会医療的ケア児支援ワーキングチーム会議。各市自立支援協議会主催：子ども部会など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院前カンファレンスに参加し、退院当初からチーム支援ができる体制が整えられた。福祉サービスをスムーズに利用でき、落ち着いた地域生活の開始につながった。</li> <li>・圏域内の研修・学習会で地域の課題を整理するとともに他市の取り組みを知り、それを参考に今後の支援方針を具体化できた。</li> <li>・そもそも「医療的ケア児支援コーディネータ」とは何か、どんな役割や機能が求められているか、今後の効果的な活用の仕組みなど、地域の行政・医療・福祉・教育の関係者の中で理解と啓発が足りない。</li> </ul>
12 豊田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース対応</li> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市地域自立支援協議会医療的ケア児者等支援部会に参加し、地域課題についての提言を行った。</li> <li>・市役所内にて個別支援会議に参加し、サービス調整や情報共有に努めた。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際のカンファレンスに参加し、退院後のサービスについて提案、計画書の作成を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果】各コーディネーターが関係機関と連携し、ケースの対応することができた。</li> <li>【課題】関係機関とのサービス調整や情報共有はできたが、コーディネーター同士が集まる場がなく、事例の情報共有等が出来なかった。また、コーディネーター歴の長い担当者へ相談が入ることが多く、ケースの対応数に偏りが生じてしまっている。</li> </ul>
13 安城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議の開催・参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言を行った。</li> <li>・個別支援会議を開催、または参加し関係機関との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・医療的ケア児の支援者を対象とした研修へ参加し、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の医療的ケア児を含む支援が必要な方のマップ作りを作成中。</li> <li>・課題が多すぎて優先順位をつけるのが困難である。</li> <li>・学校卒業後の進路についての地域で提供できる選択肢が少ない。</li> <li>・個人情報の保護の関係で情報共有が難しい。</li> </ul>
14 西尾市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・市内のコーディネーターの情報交換の場への参加</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・市内のコーディネーター等が集まる機会を設け、情報交換を行った。</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議へ参加してもらうことで、医療的ケア児等コーディネーターの存在を知ってもらう機会にはなった。</li> <li>・職種の異なるコーディネーター間で話し合うことで、違った視点で医療的ケア児に必要な支援を検討することができた。</li> <li>・今後の具体的な活動内容が決まっておらず、検討していく必要がある。</li> </ul>
15 蒲郡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・圏域内のコーディネーター講演会等への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、地域の実情についての発言を行った。また、圏域内でのコーディネーター講演会等の内容の報告を行った。</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会で、情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数名のコーディネーターの役割分担がされておらず、実際に支援を行う際の担当者が定まっていない。</li> <li>・市内に医療的ケア児受け入れ可能な施設がなく、コーディネーターを行うにあたり提供できる情報が少ない。</li> <li>・市内の医療的ケア児全員の把握はおそらくできておらず、どのように活動してよいか不明。</li> </ul>
16 犬山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議にて関係課や関係機関との調整。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な医療的ケアを必要とする児の訪問医が近隣にいないことが課題。</li> <li>・医療的ケア児が少ないため医療的ケア児及びその家族の生活について関係機関が把握し理解できるよう働きかけを行う必要がある。</li> <li>・個別支援を実施する中で、退院前からサービス利用の調整を行うことができた。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
17 常滑市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内の会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言を行った。</li> <li>・情報交換や課題の提案を行った。</li> <li>・保護者と必要な福祉サービスを調整し個別支援計画を作る。</li> <li>・みんなで個人の課題と共通（地域）の課題を考え、行政や協議会へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就労やレスパイトに対応したサービス資源が不足している。</li> </ul>
18 江南市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>小児慢性特定疾病児童等関係機関連絡会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言等を行った。</li> <li>・個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>小児慢性特定疾病児童等へのガイドブック作成に携わった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例等があった場合、中心的な役割を担うこととなるが、職種間での調整が十分にできない可能性がある。</li> <li>・すべての職員が、行政職員のため、異動があり、継続した支援が行えない可能性がある。</li> </ul>
19 小牧市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等ネットワーク部会を運営し、研修会、個別ニーズ調査（アンケート調査、個別訪問）、事例検討を実施。</li> <li>・医療機関等と連携し、退院時カンファレンスや個別支援会議へ参加し、医療的ケア児とその家族の支援体制を構築した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等ネットワーク部会において関係機関との連携を強化したことにより、医療的ケア児等の情報をコーディネーターに集約する流れができた。また、医療的ケア児の保育園への入園支援など、多機関による協力体制を構築することができた。</li> <li>・個別支援会議や退院時カンファレンスに参加することで具体的な支援に繋げることができた。</li> <li>・医療的ケア児者について全容が把握できておらず、継続した調査やコーディネーターの周知が必要。</li> </ul>
20 稲沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題の共有。</li> <li>・近隣のNICUを持つ医療機関へ、医療的ケア児コーディネーターの周知の実施。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言。</li> <li>・福祉サービス未申請のケースに対する関係機関との連絡、調整。</li> <li>・母子担当課保健師と、ケース把握時点で共有を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健担当課と福祉分野が、より早期から連携できるようになった。</li> <li>・訪問看護分野と福祉分野が、協議の場を通して、顔の見える関係になり、より相談しやすくなった。</li> <li>・近隣に医療的ケア児が活用できる資源が少ないため、個々のケースを通し、関係機関に働きかけを行う必要がある。</li> <li>・今後、医療的ケア児コーディネーターが効果的に活動できるよう、具体的な活動を検討していく必要がある。</li> </ul>
21 新城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問への助言</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の地区担当保健師の家庭訪問内容を助言した。</li> <li>・コーディネーターの勉強会には事業の都合がつかず参加できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に支援内容を検討することで、担当者の心理的な負担の軽減につながった。</li> <li>・市内に医療的ケア児が利用できる資源が少ない</li> </ul>
22 東海市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や課題解決に向けて検討を行う。</li> <li>・個別支援会議へ参加し、関係課等との調整を行う。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当の保健師として、医療的ケア児の退院カンファレンスへの参加を呼びかけられるが、コーディネーターとしての役割は浸透していないと感じる。</li> <li>・今後、医療的ケア児支援センターとの連携を図り、医療的ケア児への支援を充実させていきたい。</li> </ul>
23 大府市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で新規事業の提案を行うことができた。</li> <li>・部会以外での関係機関との協議をどのように進めていくかが課題。</li> </ul>
24 知多市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・医療的ケア児の訪問支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・退院後の医療的ケア児宅を訪問し、生活状況や福祉サービス等申請状況の確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市としてコーディネーターをどう活用するのか、体制が定まっていない。現状、コーディネーターが個々に相談を受けて対応しており、連携体制ができていない。</li> </ul>
25 知立市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議に参加し、医療的ケア児の現状と課題について話し合った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの立場で把握している医療的ケア児について情報共有することができた。</li> <li>・課題として、コーディネーターとしての具体的な役割や位置づけ等がないこと。</li> </ul>
26 尾張旭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場の運営及び参加</li> <li>・個別支援会議への出席</li> <li>・コーディネーター研修（フォローアップ研修）への参加</li> <li>・医ケア児者のリスト化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医ケア児の支援状況を共有し、今後の支援先の検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リストを用いて学校や保育関係者と医ケア児の情報を事前に共有できたことで、受け入れ先の検討を学校や保育関係者主導で調整することができた。</li> </ul>
27 高浜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・個別支援会議へ参加し、関係課やい行書との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・圏域内のコーディネーターの交流会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスの迅速な利用に繋がった。</li> <li>・協議の場を通して、行政との情報共有を密に行った。</li> </ul>
28 岩倉市	【活動実績無し】		
29 豊明市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場の企画および参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・相談支援専門員への助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の医療的ケア児のリストアップ、現状の情報収集。</li> <li>・医療的ケア児の母が集まるサロンに参加。</li> <li>・医療的ケア児とその家族が対象のイベント「かけはしキッズ」への参加協力</li> <li>・県の医療的ケア児実態調査結果の把握・分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療的ケア児の個々の事例から、実情と課題を把握することに努めた。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
30 日進市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内のコーディネーター会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で子育て支援課と連携し対象児や家族の状況把握を行った。</li> <li>・市役所関係課で開催された情報交換会に参加し、意見交換を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・圏域内のコーディネーター会議で情報共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児や家族の困りごと等の把握ができ、子育て支援課において学校等訪問看護事業を実施することとなったが、移動時や災害時の対応、児童発達支援利用前後の時間の預かり先等の課題について、議論が進んでいない。</li> <li>・各担当や機関で医療的ケア児を把握した際の情報集約の流れを確認することができた。</li> <li>・退院のカンファレンスに参加したことで、退院後速やかに福祉サービスの利用につなげることができたが、医療的ケア児が利用できる社会資源が少ないため選択肢が限られる。</li> </ul>
31 田原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の医療機関との情報共有及び連携会に参加</li> <li>・保育所や学校等の受入先との調整会議に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・保育所入所や小学校就学に伴う事前準備のため、医療機関や関係機関との情報共有や連絡会開催の調整を行った。</li> <li>・保育所や学校等の受入先の職員及び配置する看護師、医療的ケア児の保護者との打合せ開催の調整を行った。</li> </ul>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所・学校・医療機関等との調整を行い、身近な地域で通園登校できる体制を整えることができた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児とその家族のニーズの把握。社会資源の不足。</li> <li>・複数いるコーディネーターの役割を明確化する必要がある。</li> </ul>
32 愛西市	【活動実績無し】		
33 清須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節目での発達確認や地域の子育て支援、福祉サービスについて助言した。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の退院カンファレンスへ参加し、退院後の調整について関係機関で情報共有をし支援に繋ぐことができた。</li> </ul>
34 北名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議の開催</li> <li>・相談対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議を開催し、関係機関との調整を行った。</li> <li>・関係機関からの相談対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校での受け入れ調整を円滑に進めるためのノウハウがないことが課題。</li> </ul>
35 弥富市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で、把握できる全ケースの状況確認し、地域課題の抽出や検討、情報交換を行った。</li> <li>・保育・教育等ライフステージにおける対応体制・課題の洗い出しを行い、既存の取り組みの情報共有</li> <li>・海部南部圏域でのC oで情報共有、ケースがない地域のフォローを含めた事例検討会の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での連携は展開されるが、個人情報観点より、早期の情報共有が困難。</li> <li>・NICUと保健師との連携は行われているが、在宅サービスや福祉との連携体制がまだ強化が必要。</li> <li>・新生児は保健センターで全数把握できるが、転入に伴う医ケア児者の把握が遅れる。</li> <li>・医療ケア児を受け入れてくれる放課後等デイサービスや児童発達支援事業所の資源が1事業所しかない。</li> </ul>
36 みよし市	医療的ケア児等コーディネーターワーキンググループの設置及び協議 ・医療的ケア児のケース会議への参加や研修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等コーディネーター養成研修受講者でワーキンググループを設立し、みよし市における医療的ケア児等コーディネーターの役割や医療的ケア費給付事業の現状・課題について協議した。</li> <li>・新規の訪問看護事業所を訪問し、医療的ケア費給付事業の説明を行った。</li> <li>・医療的ケア費給付事業利用者の通う学校でのケース会議に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージごとに担当となる医療的ケア児等コーディネーターを決め、実際にケース会議に参加することができた。</li> <li>・医療的ケア児等コーディネーターの存在や役割が周知されていない。</li> <li>・医療的ケア費給付事業が学校や保護者に知られていない課題があることがわかったため、医療的ケア児等コーディネーターとして周知啓発に取り組んでいく。</li> </ul>
37 あま市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海部東部障害者総合支援協議会（発達支援部会）にて地域の医療的ケア児の支援のための協議を行った。</li> </ul>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児を把握するために関係機関との連携が必要。</li> <li>・支援体制及び周知方法について検討していく必要がある。</li> </ul>
38 長久手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケース検討会への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケース会議に参加し、関係機関との情報共有や支援方針について協議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉、保健、医療の分野にコーディネーターを配置したが、それぞれの役割を明確にしていく必要がある。</li> </ul>
39 東郷町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で今後の支援体制及び情報共有の方法についての提案を行った。</li> <li>・医療的ケア児の入園や就学等について担当課と検討を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院カンファレンスに参加したことで、早期にショートステイや児童発達支援が利用できるよう調整を行うことができた。</li> </ul>
40 豊山町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町部会（相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議）への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町部会（相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議）へ参加し、関係課との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町部会（相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議）へ参加し、医療的ケア児の支援に関する情報交換を行うことができた。</li> </ul>
41 大口町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町障がい福祉調整会議に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事例が少なく相談等対応に係る蓄積が少ないため、対応方法について難しさがあるため、医療的ケア児支援センターとの連携をどのように行っていくかというのを課題として考えている。</li> </ul>
42 扶桑町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で情報共有を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加した。</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<p>新生児で退院時にヘルパーが必要になる案件がない。</p> <p>年1回協議会を行い、各関係機関から情報共有を行っているが、コーディネーターが必要になることがなく、それぞれが何をすべきかがよく分からない。(現状維持が多い)</p> <p>協議の場があることで連携先や、コーディネーターの確認ができ、日々の業務の中で連携がしやすくなった。</p>
43 大治町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場内の医療的ケア児会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・協議の場へ参加し、今後の医療的ケア児支援について協議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の把握方法やコーディネーターの役割について協議を行った。</li> <li>・事例検討で関係機関と情報共有を図り、継続して支援していくこととなった。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
44 蟹江町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・家庭訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問を行った。</li> <li>・医療機関との連絡調整を行った。</li> <li>・協議の場へ参加し、情報共有及び関係機関との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学児の受け入れ先との調整が課題である。早い時期から調整を行っていく必要がある。</li> </ul>
45 飛島村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・地域アドバイザー主催の海部圏域・尾張北部圏域対象の研修への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児に関する情報共有</li> <li>・地域アドバイザー主催の海部圏域及び尾張北部圏域を対象にした医療的ケア児の支援に関する研修（講演・事例検討）に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の各関係機関との連携を確認できた。</li> <li>・研修を通じて、医療的ケア児及びその家族の現状について改めて理解することができた。</li> <li>・村内の<b>社会資源</b>が少ないため、圏域等の近隣自治体に頼らざるを得ない。</li> <li>・事例が少ないため、課題がでた時の対応や判断が難しい。</li> </ul>
46 阿久比町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・制度協議の場への参加</li> <li>・個別支援検討への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加。医療・福祉の早期連携により、家族を含めた関係者間で気軽な話し合いができる関係性構築に努めた。</li> <li>・個別検討の場で地域課題の共有、訪問<b>看護師</b>派遣事業（案）についての提案、検討を行った。</li> <li>・重症心身障害児の保育園での地域交流について、関係課と話し合い調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院<b>カンファレンス</b>に参加したことにより早期からチームで問題点を共有し、退院後も状況に応じた方針について、チームで検討していくことができた。</li> <li>・今後新たな医療的ケア児が出生した際に家族の選択肢を広げていくためにも必要な事業である訪問<b>看護師</b>派遣事業について、地域課題として検討をしていくことができています。</li> <li>・令和3年度は調整したが残念ながら実現には至らなかった。今回の話し合いと調整を、今後の事例に生かしていくこととしたい。</li> </ul>
47 東浦町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・町内の<b>個別支援会議</b>へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に医療的ケア児等の利用できる事業所が少ない。</li> <li>・コーディネーターの活動やサービスの調整ができるよう、医療的ケア児等コーディネーターの周知用チラシや医療的ケア児等に対するガイドブックを作成</li> <li>・未整備だった小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業の準備やタクシー料金助成の対象に医療的ケア児等を加えた。</li> <li>・他市の取り組みを参考に、必要なサービスについて、関係者と協議した。</li> </ul>
48 南知多町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関間でのケースの情報共有</li> <li>・協議の場(子ども部会)への参加</li> <li>・子ども部会での勉強会の開催</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域子ども部会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関わっている機関が集まり、大人を含めて医療的ケアがあるケースの現状共有を実施。課題の把握。</li> <li>・協議の場(子ども部会)に参加して、現状報告・課題の提言を実施。部会での協議内容をケースに反映をさせていく。</li> <li>・地域で受け入れる事業所を増やしていくために、医療的ケアのある子ども実態やしくみを作るための勉強会を実施（講師：圏域アドバイザー）。</li> <li>・個別支援会議・退院時カンファレンスについては、必要に応じて対応。</li> <li>・圏域子ども部会への参加をして、町のケース概要・課題を報告。令和4年度にできる入所施設の利用について情報共有を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町で定期的な情報共有の場をもつことで、課題が出てきた時にすぐに対応できる体制が確保できている。</li> <li>・新規のケースが出てきた時に、どうケースを取り扱っていくのかしくみの見える化をしていく必要あり。</li> <li>・次に生まれてくる医療的ケアが必要なケースが生活のしずらさを感じないように、少しずつ事業の整備をしていく必要あり。</li> <li>・子ども部会でケース検討や情報提供をしていくことで、<b>看護師</b>の雇用につながった事業所有。</li> </ul>
49 美浜町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・情報のとりまとめ</li> <li>・関係機関との協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場での地域課題への提言</li> <li>・医療的ケア児の関係者との調整及び会議への出席</li> <li>・関係機関との情報共有方法及び今後の支援についての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院に向けた体制整備のために各関係機関と連絡・調整を行い、必要な機関へ繋ぐことができた。</li> </ul>
50 武豊町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・情報のとりまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場での地域課題への提言</li> <li>・医療的ケア児の関係者との調整及び会議への出席</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有、支援の検討がスムーズにできるよう対応フロー図を完成させた</li> <li>・定期的な情報共有の場を設け、課題発見から対応までをすぐに取り組める体制が確保できた</li> </ul>
51 幸田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・幸田町医療的ケア児在宅支援事業時の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・在宅支援事業が円滑に実施できるようにコーディネートした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院時カンファレンスに参加し、医療的ケア児の相談支援と家族との信頼関係の構築ができた。</li> <li>・在宅支援事業の調整会議を開催し各関係機関へ助言を行い、円滑な支援ができています。</li> </ul>
52 設楽町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町障害者自立支援協議会に出席し、医療的ケア児の情報共有と医療・福祉連携の課題等について検討した。</li> <li>・個別支援会議に出席し助言し、役場内の関係課との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児は現在いないが、医療的ケア者の受け入れについて自立支援協議会や関係事業所等と検討することができた。</li> </ul>
53 東栄町	対象児が不在のため活動実績無し。		
54 豊根村	配置未定（対象児なし）		